

## 脈々と続く伝統と歴史

# 第117回 創立記念式典

**令**和5年6月1日(木)午前11時から、生命歯学部富士見ホールにて創立117周年記念式典が厳かに執り行われた。

新型コロナウイルスが5類になったとはいえ、今年も感染防止のために縮小して挙行された。

まず、神職による神事が執り行われ、続いて、中原理事長から東京短大の新校舎の完成や、飯田橋駅工事完了後は附属病院の目の前に改札ができること、12年間校友会会長としてご尽力された近藤勝洪会長が退任され、新会長として渡邊儀一郎先生が就任されたことのご報告を述べられた。

名誉博士号は小口春久先生に授与された。永年勤続30年8名、20年7名の表彰も併せて行われ、代表者として影山幾男先生に賞状が授与された。

校友会の新会長渡邊儀一郎先生のご挨拶では、日本歯科の発展と校友会の相互の親睦を図るため努力をしたい。また120周年に向けて準備をしていると述べられた。

最後に、4年ぶりにジュビリー50の59～62回の先生を記念式典に招待し、ゴールドバッジが贈られた。代表として吉岡重保先生が謝辞を述べられ、閉式となった。



## 令和5年度入学式を挙行!



生命歯学部



新潟生命歯学部



### 生命歯学部

春たけなわの令和5年4月4日(火)に、生命歯学部8階富士見ホールで入学式が行われた。これまでの3年間は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止や規模縮小であったが、今年は保護者も参列しての開催となった。

希望に満ちた新1年生の学生生活が始まった。

### 新潟生命歯学部

令和5年4月3日(月)に新潟生命歯学部講堂で入学式が執り行われた。今年は4年ぶりに保護者も参列しての開催となった。

藤井一維学長から激励の祝辞をいただき、希望に胸を膨らませた新1年生たちが学校生活をスタートさせた。

## — クラブ活動の現場から — クラブ紹介 陸上競技部

### 生命歯学部

こんにちは、陸上競技部です。  
陸上競技部は毎週月曜日、水曜日に活動しています。



生命歯学部5年  
大山 真由

前期は陸上競技場を中心とした専門的な練習、後期は皇居ランを行います。

部全体としてはデンタルでの入賞を目標に全員がお互いを高め合いながら日々練習をしています。

陸上は個人競技のイメージが強いと思いますが、実際は部員同士がお互いにアドバイスをしたりサポートをしながらひとつのチームとして活動しています。

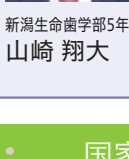
部の雰囲気もお互いに支え合いながら自分の長所を生かしてそれぞれが活動できると5年間の活動を通して感じています。

今後も全員が楽しく陸上を続けられるよう活動していきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いします。



### 新潟生命歯学部

新潟生命歯学部陸上部には現在7名が所属しております。新型コロナウイルスの流行前は、週に2回程度活動していました。主な活動内容は、動的・静的ストレッチやウェイト、体幹トレーニング、ラダートレーニングなどの基礎トレーニングと種目別の技術トレーニングを行っています。何よりも大事にしているのは怪我せず、楽しむことです。



新潟生命歯学部5年  
山崎 翔大

陸上競技の三大要素ともいえる、走る・跳ぶ・投げ

るという動作は普段の生活でも、また他のスポーツにおいても役立つと思います。さらに自分や他人との競い合いにより強い精神力も鍛えられます。一見地味なイメージを持たれやすい陸上競技ですが、努力が成果として現れた時はとても嬉しいです。

練習についていけるか不安な方も心配はいりません。陸上経験がなかったり、ブランクがある先輩も大会で入賞を果たしています。軽く身体を動かしたい人や少しでも気になる方はぜひ見学に来てください。



## 国家試験体験記

**私**は今年卒業し、現在は臨床研修歯科医として附属病院に勤務しております。国家試験を振り返ると、私の場合は仲間と共に乗り越えた一年でした。

### ●グループ学習

私たちの学年は自宅からの遠隔授業が主だったため、6年生が始まって早い段階で友人が勉強グループに誘ってくれ、当番制で毎日30分ほどその日授業で大事だと思ったポイントを国家試験の一日前まで共有していました。優秀な友人たちに囲まれて勉強のモ

チベーションを保てたことに、とても感謝しています。

### ●周りからのアドバイス

先生方から前半は教科書での理解を中心に行うこと、後半は問題の演習をというアドバイスをいただきました。科目同士のつながりを意識して勉強を進めていった結果、前期で伸び悩んでいた成績が上がりとても嬉しかったです。

### ●まとめノートの作成

国家試験直前には、何度見てもどうしても覚えられないところや、今までの授業から試験に出そうなキーワードをピックアップし、

国家試験会場で見るとのまとめノートを作っていました。当日は、直前にチェックしたところが出て感動したのを昨日のこのように覚えています。

以上が私の国家試験に向けての一年でしたが、これを読む皆さんにはそれぞれ自分に合った方法があると思います。

精一杯楽しんで悔いのない学校生活を過ごしてください。皆さんの国家試験合格をお祈りしています。



附属病院  
臨床研修歯科医  
芳澤 恵 (112回)

## 校友会会員無料 WEB セミナー 「D Muse 2023」開催

**岩**原講師から災害時の歯科的医療救護の必要性や個人識別のスクリーニングとマッチングの比較、三遊亭楽生師匠から上手く話す秘訣として、まず話のゴールを決める事を学びました。落語も一席いただき、有意義な時間となりました。



日本歯科大学附属病院  
総合診療科2  
古田 彩夏  
(104回)





ロケンロール

与那覇 朝路 (86回)



酒を呑みながら、中学からの友人と勢いで面白いことをやるのがとても好きだ。旅行行こうぜ！トライアスロン出ようぜ！草野球チーム作ろうぜ！バンドやろうぜ……酔った勢いではあるが、やりたい事を酒の肴にしてそれを実現する。自分の故郷の石垣の仲間（今は沖縄本島にみんな住んでる仲間）といろんな事をするのがとても楽しい。

その中でも、10年前にバンドやろうぜ！って、勢いからおじさんバンドがスタートした。しかも、楽器もかじったことも無く、触ったりもした事ないおじさんたちだ。自分だけは高校時代にドラムとギターをいわずらで触った程度だが、ほぼ素人。とにかく飲みながらあれしよう、これしよう、楽器は俺これやりたい、あれやりたい……飲む口実と言っても過言ではなく、オヤジロックはスタートした。

とにかく長くちゃんと続ければある程度の所まで行けるだろう理論が、自分にはある。上手い下手は別として、楽しむくらいはできるだろうと自負もある。それは大学時代にずっと続けてきたラグビー部で培ったものだと思っている。逆に言えば、小中高と中途半端な事しかしてなかった自分は大学に入る時に何も自慢？自信を持つものが無いなあ、と思っていた。大学で始めたことは何があるんでも続けよう、続けたら何かあるだろう？その向こう側が見たくなったからだ。もちろん、大学では部活を始め、いろんなことを継続し、卒業時には様々な事、経験、仲間……沢山の財産ができた。

オヤジロックも簡単な曲から一曲一曲を覚え、毎年ライブ？お披露目会？学芸会？(笑)で、呑み会の延長のような発表会を設けながら続けてきた。初心者オヤジバンドって言いながら気付いたら今年で10年(笑)。今も初心者のまま？の気持ちでおやじバンドは続いています。今でもたくさんの経験、仲間が大きな財産として増えていきます。いつまでもロケンロールしていきたいし、していくつもりだ……。

やりたいことはやる！……けどそのために、その前にやらなきゃいけないことはたくさんあるよね！！



高知 地区別校友会紹介

高知県校友会には、現在33名の会員がいます。歴史あるわが校にあって、高知県歯科医師会の中でも、独自の存在感があると思います。卒業して常々思うのは、各方面で活躍している諸先輩方がいるということは心強く、モチベーションにもなります。

主な活動としては、6月に総会、12月に忘年会、総会、1月に学術講演会を行っています。2年ほど講師を呼べない状況でしたが、今年は久しぶりに歯学会から講師を派遣していただき、開催することができました。やはり対面での講演会は集中力が上がるし、いい勉強になると改めて実感しました。また校友会内でスタディーグループを作っていて、コロナ前は県外の有名講師をお迎えして、年2回程度の講習会を行っていました。9時から15時まで、実習を交えながらみっちり勉強します。懇親会では、高知県ならではのおもてなしをしていたのですが、このところそれもままならず、寂しい思いをしています。

四国では各県持ち回りで四国地区校友会会員大会を行っています。去年は高知県が開催地でしたが、2年連続で中止となりました。他県の校友ともしばらく会っておらず、今年こそは開催できると期待しております。

また年1回のゴルフ大会、年2回の釣り大会を行っています。高知県は海、山、川と自然豊かで恵まれており、遊ぶ場所には事欠きません。釣り好きが多く、釣り大会は大きな楽しみになっています。

このように、高知県校友会は、勉強に、遊びに、一生懸命取り組んでいます。会員同士のつながりも深く、アットホームで居心地よく感じます。

近年、校友会に入る卒業生が減っているという話をよく聞きますが、とても残念に思います。校友会に入っていてよかったと感じることはたくさんありますが、損したと思ったことはありません。最後に頼りになるのは校友であると、自信をもって言えます。学生の皆さんは今、大きな期待を胸に勉学に励んでいることでしょう。無事国家試験を突破した暁には、必ず地区の校友会に入会しましょう。校友会はいつでもあなた方の味方です。



土居 詔人 (77回)

連絡先：  
どい歯科クリニック  
0880-22-2303

学生短信 Tokyo

忙殺見込みの幹事長



日本歯科大学  
生命歯学部3年  
渡辺 まりえ

本 大学で唯一動物と触れあえる、最も歴史の長い部活があります。馬術部です。歯学部には馬術部が少ないため、普段は医、歯、薬学部で構成される全日本歯薬学生馬術連盟で試合を実施しています。試合は年5回、幹事長の指揮のもと開催されますが、本大学も約10年ぶりに幹事長を輩出する番が回ってきました。幹事長は試合会場の挨拶回りから馬の調達、試合のルール改定、各

大学の主将や幹事の指揮など全ての職務を管轄します。人生で一番忙しく、留年しがちと言われる仕事です。

さて、私は何ゆえか今年副幹事長を、来年幹事長を務める予定です。正直、落馬以上の恐怖を感じておりますが、医歯薬で出会った思いやり溢れる仲間たちと共に奮闘していきます。そして我が人生で確実に財産となる体験ができること、心より光栄に思います。

東京

### 『介護の現場で使える! 口のトラブル解決BOOK』

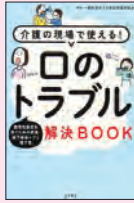
監修: 一般社団法人日本訪問歯科協会

出版社: クインテッセンス出版

出版年月: 2022/9 請求記号: D.92/Ka21

登録番号: 100039011

本書では、介護の現場ですぐに実践できる、口腔トラブルを未然に防ぐ方法を紹介しています。口腔機能を維持することで病気の誘発を抑え、健康寿命の延伸や患者のQOLを高めるための口腔ケア・口腔リハビリについてわかりやすく解説しています。



#### ●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。

新潟

### 『チェアーサイドで生きる内科疾患の基礎知識』

著者: 富野康日己

出版社: デンタルダイヤモンド社 出版年: 2023

請求記号: M3-T 登録番号: 000140798

本書は、歯科医院に来院頻度が多い36の内科疾患について、基礎知識だけでなく、情報収集のための医療面接の会話例、検査データやお薬手帖の見方・読み方、内科医から歯科診療へのアドバイス等が疾患別に簡潔にまとめられており、日々の診療に役立つ一冊かと思えます。

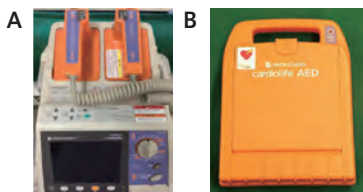


#### ●図書館開館情報

平日 9:00~18:00 第2水曜日 12:00~18:00 土曜日 終日閉館  
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。

図書館からの  
推薦図書

## KOYU Quiz



Q.  
2つの機器は  
何でしょうか?

KOYU Quizの答え:  
2つとも電気刺激を加えることによって河性リズムを回復または細動を除去する目的で使用されます。  
A 除細動装置 (defibrillator)  
心電図をみて電気ショックが必要か否か、そのときの強さを加えるかを「医師」が判断します。  
B 自動体外式除細動器 (automated external defibrillator:AED)  
このように胸に電極パッドを装着するだけで心電図を自動解析し、必要か否かを判断して電気ショックを指示する通電を行える医療機器です。

## 校友会主催 歯科医師国家試験講座

4月6日(木) 4時30分より、生命歯学部にて校友会主催歯科医師国家試験講座が開催された。

講師として歯科医師国家試験の最前線で活躍している石黒智彦先生(99回:麻布デンタルアカデミー)をお迎えし、6年生がこれからの1年間をいかに過ごすべきかについてお話をいただいた。講演内容は国家試験の詳細にわたり、出題形式とその傾向、受験者が今後とるべき有効な対策が次のように具体的に述べられた。大前提として大学講義の復習を1番大切にすること! 特に成績

の思わしくない人は最初に全体を掴んでから! 夏が一区切り! その次の区切りは12月! 模試の結果で見れば偏差値! などなど、過去のデータを最近の傾向に落とし込みながら具体的に述べられていた。今後、国試に立ち向かう6年生が、これらの生々しい話に真剣な面持ちで耳を傾けていたことは言うまでもない。その姿を見つめながら私は来春、彼ら全員が見事歯科医師国家試験に合格していることを願わずにはいられなかった。

(なお新潟生命歯学部では12月8日(金)に5年生を対象に開催予定です。)



## 3年ぶり 歯学体冬季部門が開催される

歯学体スキー部門は、2019年3月に群馬県の鹿沢スノーエリアで開催されましたが、その後新型コロナウイルスの感染拡大防止のために大会は中止となっていました。ようやく本年



生命歯学部4年  
重住 玄乗

3月に、群馬県片品村のスキー場で厳重な感染対策のもと開催することができました。

また、本来であれば2021年3月は、現在臨床研修歯科医の平田貴哉先生が準備委員長として日本歯科大学生命歯学部が主管

校開催予定でありましたが、この大会も残念ながら中止となってしまいました。

本大会は3月22日から26日までの5日間開催され、通常の大会より若干少ない17校が参加しました。私達もそうでしたが他校も歯学体が初出場の選手がほとんどであったようで、大会の参加や応援、選手のサポートなどが良くわからないまま過ぎ去りました。

今回の経験を活かし、来年はさらなる良い結果を残せるよう、1年間練習に励んでいきます。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

